



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 シマノ

コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 平田 義弘

TEL 072-223-3254

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	182,739	13.1	31,840	40.0	29,605	46.5	20,472	79.3
23年12月期第3四半期	161,602	3.7	22,740	△11.0	20,206	△6.2	11,420	△20.8

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 22,926百万円 (143.2%) 23年12月期第3四半期 9,428百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	220.83	—
23年12月期第3四半期	121.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	230,303	194,499	84.2
23年12月期	216,000	181,774	83.9

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 193,860百万円 23年12月期 181,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	30.50	—	30.50	61.00
24年12月期	—	37.50	—		
24年12月期(予想)				37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	8.2	40,000	26.0	38,000	19.9	26,500	33.4	285.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	92,720,000 株	23年12月期	93,800,000 株
24年12月期3Q	13,019 株	23年12月期	32,168 株
24年12月期3Q	92,707,367 株	23年12月期3Q	93,768,150 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3 . 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、米国では追加的景気刺激策としてFRB（米連邦準備制度理事会）がQE3（量的金融緩和政策第3弾）を決定したり、雇用情勢が一層悪化する欧州ではECB（欧州中央銀行）がユーロ圏の重債務国の国債を購入するなど新たな財政支援策がとられたものの、牽引役であった中国の経済成長も8%台を割り込み、世界経済は総じて停滞色の強い状況が続きました。

一方、国内におきましては、東日本大震災に伴う復興需要を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、為替相場は引き続き円高基調で推移し、また、一部原発の再稼動がなされたものの電力供給不安など、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続く結果となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよきこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は182,739百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は31,840百万円（前年同期比40.0%増）、経常利益は29,605百万円（前年同期比46.5%増）、四半期純利益は20,472百万円（前年同期比79.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 自転車部品

主力市場である欧州では、春先の天候不順による停滞があったものの、7月後半からの好天の後押しもあり、小売店ではほぼ昨年並みの販売を維持することができました。北米では、暖冬と安定した春の天候による好調な販売はその後一段落したものの、前年以上の販売を維持しています。また、昨年来大きく伸びた中国のスポーツタイプ自転車需要は、中国景気のピークアウトから年後半の販売減速が懸念されるものの、足元は成長を継続しています。そして、東南アジア、南米においては、スポーツタイプ自転車の需要が伸びています。一方、日本での小売店販売は、低調に推移しています。

このような市場環境のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、第2四半期に投入したマウンテンバイクコンポーネントの「SLX」やロードバイクコンポーネントの「SORA」、「Tourney A070」をはじめとする新製品は、引き続き好調な販売を継続しております。加えて、第3四半期に投入したロードバイクコンポーネント最高峰の「DURA ACE」、トレッキングバイクコンポーネント「Deore LX」も好評で多くのご注文をいただいております。

この結果、当セグメントの売上高は146,229百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は29,821百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

## 釣具

国内市場では、記録的な大雨や大型台風などが九州を中心に西日本に上陸するなど、例年がない天候不順が続いたことにより小売販売は厳しい状況が続きました。

しかしながら、当社製品は、不透明な市場環境の中、電動リールや高級スピニングリール、ルアー釣り用ベイトキャスティングリールが堅調に販売を伸ばすことができ、船釣り用や磯釣り用、ルアー釣り用のロッドなども売上を伸ばしました。

一方、海外市場では、欧州での販売が政府債務問題による景気後退の影響を受け、また北米においても猛暑日が続いたりハリケーンが発生したりなど厳しい天候の影響を受けたものの、豪州地域が継続して好調に推移したこともあり、全体としては売上を伸ばしました。

この結果、当セグメントの売上高は36,186百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は2,198百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

## その他

当セグメントの売上高は323百万円（前年同期比29.6%減）、営業損失は179百万円（前年同期は営業損失194百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は230,303百万円(前連結会計年度比14,303百万円の増加)となりました。これは、商品及び製品が7,315百万円、建設仮勘定が3,278百万円、建物及び構築物が2,636百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は35,804百万円(前連結会計年度比1,578百万円の増加)となりました。これは、買掛金が1,480百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は194,499百万円(前連結会計年度比12,724百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が10,196百万円、為替換算調整勘定が2,257百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、南欧諸国に飛び火した政府財政危機は、欧州全域の経済活動に深刻な影響を与えつつあり、年後半にかけて域内景況感は一層の停滞色を強めることが予想されます。さらに、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化も続いております。

また、国内におきましては、東日本大震災後の復興計画の具体化による復興需要が国内の牽引役となることが期待されますが、海外経済減速の長期化や円高の進行など、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような環境のなか、平成24年7月31日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、経常利益38,000百万円、当期純利益26,500百万円とさせていただきます。

なお、平成24年2月8日に公表いたしましたとおり、当連結会計年度より、連結子会社27社の事業年度末日を従来の11月30日から12月31日へ変更いたしました。これにより当第3四半期連結累計期間は10ヶ月としております。この結果、売上高2,858百万円、営業利益1,591百万円、経常利益1,719百万円、税金等調整前当期純利益1,719百万円それぞれ増加いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、Shimano Oceania Holdings Pty.Ltd. は Dunphy Holdings Pty.Ltd. から、Shimano Australia Fishing Pty.Ltd. は Dunphy Sports/Fishing Imports Pty.Ltd. から、Shimano Australia Cycling Pty.Ltd. は Shimano Australia Pty.Ltd. からそれぞれ社名を変更しております。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	82,252	82,134
受取手形及び売掛金	25,189	23,173
商品及び製品	19,269	26,584
仕掛品	14,971	16,442
原材料及び貯蔵品	4,419	4,605
繰延税金資産	1,878	2,149
その他	3,168	3,145
貸倒引当金	306	244
流動資産合計	150,842	157,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,046	19,683
機械装置及び運搬具(純額)	11,031	11,085
土地	11,152	11,148
リース資産(純額)	47	391
建設仮勘定	3,733	7,012
その他(純額)	3,784	4,122
有形固定資産合計	46,797	53,443
無形固定資産		
のれん	3,737	3,478
ソフトウェア	1,610	1,687
その他	2,758	2,630
無形固定資産合計	8,106	7,797
投資その他の資産		
投資有価証券	6,714	7,463
繰延税金資産	1,472	1,573
その他	2,554	2,536
貸倒引当金	488	501
投資その他の資産合計	10,253	11,071
固定資産合計	65,157	72,312
資産合計	216,000	230,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,750	9,230
短期借入金	4,136	3,915
未払法人税等	3,608	4,858
繰延税金負債	298	238
賞与引当金	1,217	1,976
役員賞与引当金	161	123
その他	9,631	9,580
流動負債合計	26,803	29,923
固定負債		
長期借入金	2,928	1,436
繰延税金負債	784	772
退職給付引当金	2,425	2,515
役員退職慰労引当金	1,130	-
その他	152	1,156
固定負債合計	7,422	5,880
負債合計	34,225	35,804
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,822
利益剰余金	159,597	169,793
自己株式	124	46
株主資本合計	200,908	211,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	187
為替換算調整勘定	19,767	17,509
その他の包括利益累計額合計	19,719	17,321
少数株主持分	584	638
純資産合計	181,774	194,499
負債純資産合計	216,000	230,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	161,602	182,739
売上原価	104,880	114,692
売上総利益	56,721	68,047
販売費及び一般管理費	33,981	36,206
営業利益	22,740	31,840
営業外収益		
受取利息	490	578
受取配当金	473	275
その他	340	505
営業外収益合計	1,303	1,358
営業外費用		
支払利息	205	250
為替差損	2,635	3,040
その他	996	302
営業外費用合計	3,837	3,593
経常利益	20,206	29,605
特別損失		
投資有価証券評価損	1,351	-
工場建替関連費用	524	433
特別損失合計	1,875	433
税金等調整前四半期純利益	18,330	29,172
法人税、住民税及び事業税	6,556	9,216
法人税等調整額	308	579
法人税等合計	6,865	8,636
少数株主損益調整前四半期純利益	11,465	20,536
少数株主利益	44	63
四半期純利益	11,420	20,472

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,465	20,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383	140
為替換算調整勘定	2,420	2,250
その他の包括利益合計	2,037	2,390
四半期包括利益	9,428	22,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,425	22,870
少数株主に係る四半期包括利益	3	56

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等  
【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	128,712	32,431	458	161,602	-	161,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	128,712	32,431	458	161,602	-	161,602
セグメント利益又は損失( )	21,203	1,731	194	22,740	-	22,740

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	146,229	36,186	323	182,739	-	182,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	146,229	36,186	323	182,739	-	182,739
セグメント利益又は損失( )	29,821	2,198	179	31,840	-	31,840

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年1月17日開催の取締役会決議に基づき、平成24年1月18日に自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,858百万円増加しております。

また、平成24年2月8日開催の取締役会決議に基づき、平成24年2月13日に自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,939百万円減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が46百万円となっております。